

# 学生チャレンジ企画

## 日系ブラジル人、職育の体制づくり 被災地復興に向けてのスタディーツアー

21件の応募があった今年の学生チャレンジ企画。審査の結果、6つの団体が優秀企画に選ばれました。今回はその中からの2つの活動を報告します。

国際学部(有志)

### 日系ブラジル人、職育の体制づくり

日本での生活になじめず不就業となる日系ブラジル人の子供たちが社会問題となっています。同じ日系ブラジル人で、国際学部で学ぶ和田フェルナンドさんと有志は、この問題に真正面から取り組みました。

「私は日系3世のブラジル人です。両親は私が幼い頃に日本へ出稼ぎに来て、今も日本で働いています。私は18歳の時に日本にきましたが、教育熱心な両親のおかげで、働きながら大学進学を目指し、今こうして日本の大学で学ぶことができています。今回の企画では、

私が大学へ進学できたように、出稼ぎ日系ブラジル人の子供たちが日本社会で生活するための「職育」、学ぶ機会を作り出すことがテーマです。今、工場などで働く日系ブラジル人たちの多くは、出稼ぎというよりも、家族ぐるみで生活の基盤を日本においています。そこで問題になるのが、家族と共に日本に来た子供たちや、日本で生まれた子供たちの存在です。

#### 日系ブラジル人の子供たちが 日本社会に進出するきっかけに

中には日本人学校に通う子供も少数ながらもいますが、環境になじめず不登校になったり、ブラジル人学校に入り直すケースが増えています。問題はブラジル人学校を卒業したあとです。彼らの就職先は、単純作業が中心の工場派遣が中心です。それを悪いとは言いません。しかし、日本人社会に触れて、教育を受けていれば、もっと違う選択肢があったように思うのです。



群馬県太田市にある「コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 太田校」を訪問。



運動場で交流。ブラジル人とはサッカーボールさえあれば仲良くなれる。



サポート役の男性は国際学部で学ぶバングラディッシュからの留学生サニー。



日系ブラジル人の子供たち。将来のこと、暮らしのことなど楽しく話を聞く。

域や社会と接点を持つことが大切です。頑張れば大学への進学の道も開けますし、卒業後の仕事や夢も違ったものになるはず。まずは子供たちに、自分たちの持つ可能性に気付いて欲しいと思います。

そのための第一歩として、この企画に賛同してくれた同じ国際学部の仲間たちと共に、ブラジル人学校を訪問しました。そこで先生や子供たちと話すうちに、教育現場の実情が把握できました。彼らには日本の教育制度や進学に関する情報が圧倒的に不足しているのです。そのため、進学という選択肢をはじめからあきらめてしまっています。

そこでまずは、日本の学生と交流することで日本人社会とつながりを持つことから始めました。そして、ブラジル人学校で学ぶ高校生13名を八王子キャンパスに招待し、他の学生や先生と話す機会を作り、大学で学ぶことを知る、きっかけにして欲しいと願っています。

今後は日系ブラジル人の子供たちに向けたコミュニティサイトを作り、進学や就職のための情報を発信していきたいと考えています。そして一人でも多くの子供たちが、しっかりした教育を受け、就職や将来に希望を見いだせる環境づくりをサポートしていきたいと思えます」

国際学部有志を代表して話す和田フェルナンドさん(左)。池田遼さん(右)は和田さんから相談されてこの問題を初めて知り、今は共に行動しながら和田さんをサポートしている。



#### 活動日記

- 7月 5日 ..... 群馬県太田市ブラジル人学校訪問 (リーダー和田さん) 校長先生に企画趣旨の説明。ヒアリング実施。
- 7月31日 ..... 第一回 群馬県太田市ブラジル人学校訪問 (メンバー6名) 状況の確認と交流。
- 8月 3日 ..... 第二回 群馬県太田市ブラジル人学校訪問 (メンバー6名)
- 9月28日 ..... 日系ブラジル人高校生13名を八王子キャンパスに招待。大学生活の紹介と学生との交流を図る。
- 10月19日~21日 ..... 紅陵祭 活動報告予定